

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	遊具施設等安全対策事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	07	05
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	天川 一典			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公園遊具施設	意図	市民が憩い安らげる場を提供するため、適切な公園施設の整備・管理を行う。
事業内容	既存の公園遊具施設等の補修改良の安全対策工事を行い、身近に憩い安らぐ空間を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	公園遊具施設の老朽化が進んでいる。市民の公園に対する要求が高度化してきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	対象遊具施設等	27	44	63	基	↑↑↑	遊具の撤去・新設・改修基数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年度6月に公園遊具の安全基準が見直された。基準に基づき、見直し及び耐久年数を考慮して、優先順位をつけ実施している。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		47,844,104	51,517,884	62,920,344				
事業費(b)(円)		34,024,104	36,457,884	49,190,344				
うち一般財源		34,024,104	36,457,884	49,190,344				
職員給与費(c)(円)		13,820,000	15,060,000	13,730,000				
人役・職員(人)		2.00	2.00	2.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	危険遊具を早期発見できるよう、地元自治会と密に連携していく。	③取組の課題	危険遊具の早期発見と早期の補修改修を行う必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	危険個所の連絡を受け、緊急性の高い個所から改修を行った。	④今後の改善計画	地元自治会や専門業者の点検を踏まえ遊具の改修を行う。